

大津市肝炎ウイルス検診を受診される人へ（事前説明書）

肝炎を起こす原因はさまざまですが、日本では肝炎ウイルスの感染によるウイルス性肝炎が多くを占めています。大津市肝炎ウイルス検診は、B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの感染の状況を調べるものです。肝炎ウイルスについてご理解いただいた上で検診をお受けください。

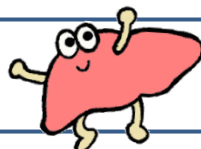
また、今回の肝炎ウイルス検診は一生涯に一度受けることができる検診ですので、**検診日、検診結果は控えておくようにしてください。**

感染経路は・・・

B型・C型肝炎ウイルスは、血液や体液を介して感染します。

- 主な経路
- ・注射器の使い回し（1960年代までは予防接種などで注射器の連続使用がありました）
 - ・母子感染（特にB型）
 - ・1992年以前の輸血
 - ・1994年以前のフィブリノゲン製剤や1988年以前の血液凝固因子製剤の投与
 - ・十分に消毒されていない器具によるピアスの穴あけ
 - ・入れ墨を彫る
 - ・性行為（特にB型）

肝炎ウイルスに感染すると・・・



B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスに感染すると、一定期間後に身体がだるい、食欲不振、悪心・嘔吐、黄疸など症状が出現することがあります。しかし、自覚症状がほとんどなく気づかないまま慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと進行していく場合もあります。

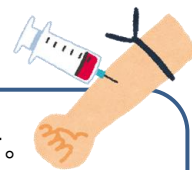
肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理や治療により肝炎から肝硬変や肝がんへの悪化を予防することが可能です。

肝炎ウイルス検査とは・・・

B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを血液検査で調べます。

B型肝炎ウイルスは、HBs抗原検査を行い、「陽性」または「陰性」で判定します。

C型肝炎ウイルスは、HCV抗体検査（必要な場合はHCV核酸増幅検査も実施）を行い、「現在、感染している可能性が高い」または「現在、感染している可能性が低い」と判定が出ます。



もし、感染していることがわかったら・・・

B型肝炎ウイルス検査で「陽性」となった場合やC型肝炎ウイルス検査で「現在、感染している可能性が高い」と判定された場合は、まず医療機関を受診して、“肝臓の状態”をチェックするため精密検査を受け、医師の診断を受けてください（医療保険診療）。

感染している人の血液が他の人に直接触れないように注意していれば、感染することはほとんどありませんので、あまり神経質になることはありません。（B型肝炎ウイルスの場合は性行為でも感染の可能性があります。パートナーがいる場合は、医師に相談しましょう。）